

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 53番
- *交読文 …………… 39番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 175番
- 礼拝のための祈り ……… 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 …………… 313番
- メッセージ …………… ソドム滅亡前夜のロト周辺の間人模様(創世記 19:12-22)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 253番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

神のゆるがない土台はすえられていて、それに次の句が証印として、しるされている。「主は自分の者たちを知る」。また「主の名を呼ぶ____は、不義から離れよ」。(2テモテ 2:19)

主にあっておごそかに勧める。____は今後、異邦人がむなしい心で歩いているように歩いてはならない。彼らの知力は暗くなり、その内なる無知と心の硬化とにより、神のいのちから遠く離れ、自ら無感覚になって、ほしいままにあらゆる不潔な行いをして、放縦に身を委ねている。しかし____は、そのようにキリストに学んだのではなかった。____はたしかに彼に聞き、彼にあって教えられ、イエスにある真理をそのまま学んだはずである。すなわち____は、以前の生活に属する情欲に迷って滅び行く古き人を脱ぎ捨て、心の深みまで新たにされ、真の義と聖とをそなえた神にかたどって造られた新しき人を着るべきである。(エペソ 4:17-24)

主は、ソドムの悪行を訴える叫びがその通りかどうかを確認するため、御使い達を人の姿で遣わしたが、この町は、狂気の沙汰とも言える悪行でもって彼らを迎え、もはや、彼らには弁解の余地は無くなった。そこで御使い達は、この町で唯一、かろうじての義人の心を保っていたロトに言う。自分達は実はこの町を滅ぼす為に主から遣わされている、については近親の人がいるなら連れ出して逃げるように、と。

主がこの場所を滅ぼされる事は、確定した。そして残された時は、少ない。ロトはその事を聞くと、まずは、婿たちの所に行って告げた。『「立ってこの所から出なさい。主がこの町を滅ぼされます」。しかしそれはむこたちには戯むれごとと思えた。』(創世記 19:14) 夜、もう休もうとしている所を、突然訪問され、主の裁きが降るから今すぐ逃げなさい、と言われても、冗談のように思うのは当然かもしれない。しかし、**主の時は盗人のように来る事をイエス様は予め警告している。**その日その時はいつかは誰にも分らないが、必ずその「いつか」が来る事は、日頃から伝えるべきだ。ロトは、普段から義について説いて来たであろうが、それを普段から聞き流していたような者達は、いざ本当に裁きの日が来た時、どんな真剣な表情で警告をしても、戯れ事のように思い、決して動かない。この世の裁きの日も同じである。最後の時、最後の警告をしても、それを冗談のように思う者は多いのだ。そうなった場合、残念ながら彼らはあきらめ、一緒に滅ぼされないように、彼らから離れなくてはならないが、そのような時がまだ来ていない今、私達は福音を、御言葉を、義を、のべ伝え続けるべきだ。

ロトの説得虚しく、婿達は滅びが確定した町から出ないまま、夜明けが近づき、滅びの時は刻一刻と迫ってきた。御使いたちはロトに「立って、ここにあなたの妻とふたりの娘とを連れ出しなさい。そうしなければ、あなたもこの町の不義のために滅ぼされる。」と通告したが、それでもロトは、ぐずぐずとためらっていた。そこで彼らは、ロトとその妻、二人の娘の手を取り、町の外へと避難させた。それは主のあわれみである。それは、主がアブラハムの執り成しを聞いておられたからだ。(29節) **執り成し祈られている人は、ここぞという時、その人一人では自ら救い得ない程に信仰が弱っていようとも、主が手を取って救って下さるのだ。**彼らがロト達を町外れへ連れ出した時、主は言われた。逃げて自分の命を救いなさい、後ろを振り返って見てはならない、低地はどこも立ち止まらず山に逃げなさい、と。町と一緒に焼き尽くされないように、と。ロトは、その段においても、「わが主よ、どうか、そうさせないでください。」と願い出た。(18節) 確かに、彼の精神状態では、そのまま逃げ切れなかった可能性は大きい。彼にはためらいがあった。住み慣れた所、使い慣れた家財道具、面倒を見てきた家畜、蓄えた財産や築き上げた地位など、様々な努力の結晶に、もし強烈な愛着を注いでいたなら、それをたった一晩で手放す事は、不可能である。だから私達は、普段から、**罪に属するような滅び行くものに愛着を持たず、天の事に愛着をもつべきだ。**ロトは、山まで逃れるのは到底無理だから、その代わり、あの小さな町に逃れるようにして下さい、と願い出、聞き届けられた。御使いは「あなたがそこに着くまでは、わたしは何事もすることができません」と言った。この、もうボロボロではあってもかろうじて「義人」を保っているような人でさえ、**彼が安全な所に逃げるまで、主は御使いに何もさせないのだ。**主は、義人も毒妻と一緒に引っこ抜かれるといけなから、敢えて全てが育ち切るまで、待たれるお方である。(マタイ 13:24-30) 主は確かに憐れみ深いですが、自動的に何もかもしてくれるのではない。私達の側にも従順すべき分がある。主はロトとその家族の手を取って町の外までは導いて下さったが、彼らを翼に乗せて安全な所へひとつ飛びさせて下さったわけではなかった。同様に**人の側にも従順するべき分があり、その時、人は自分自身の足を使い、汗を流し、振り向いたり留まったりせず、滅ぼされるべき場から、離れて行かなければならない。**服従しなかったロトの家族の、ある人達は、ソドムの町と一緒に滅んでしまった。

ソドムでは、滅ぼされる前夜、このように、滅びの側に残った人と、憐れみによってかろうじて助けられた人どに分かれた。ソドムに滅亡の時が来たように、この世もやがて滅ぼされるべき時が来る。その時、ソドムの中の混乱に巻き込まれたロトのようではなく、元々、主が約束された安全な山地に留まってむしろロトのために執り成し祈ったアブラハムのような皆さんでありますように！ イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会 礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会	5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会	13:00～
火～木 夜の祈祷会	19:30～

水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト